

三年前の三月十日思ひ出せば小雪のふる寒い日でした。

我が家は道路をはさんで前はしずかな波音のしずいゝ丸仙居です
他県からはいてきた漁船員たちはこの港は日本一だといって
くれます、あの日あの時突然大きな揺れがおき

立っていることができず座りこんだりはうばいになったり

あちこうで悲鳴もざわめきが起こりました。私はホームセンターの
駐車場にいたんです。広い駐車場に長いひあれができびくりにして

足を引っかけない用車に飛ぶ。乗り我が家えといふが止まりました。
途中マニホールの飛び出してるのをよけながら運よく車には、

一台も合わず分ほどで家に着き5ほどの高さに車を止め

二階に駆けよりました。畳一面50円玉で足の踏み場がありません

家内の睨めた時金箱がタンスの上から落ちたんだ。首段より

貴重品はリキウに入れていたんです。それを水漬ク臭ッて

外に出ました。道路には人々が集まりかまかまとなにやら

口ばしをきました。その中に昨日一緒に畑仕事をした方を

見つけ津波がくるってヨソの畑さいこう者を掛けたか

大丈夫だきだつて道路さ上がってくるべれーだ。さういつて

自分の家の方へ歩きついでに歩いた。彼の後ろ姿がさびしく

泣いてる用にくりました。この方とは夫婦ともども二度と合おう

ことはできませんでした。私は家内にもバカにも畑ま上がれ
声掛けました。ふと海の方を見ると物になるジヤが岸邊に
座って海を見つめてました。私は走って行きたるにやてんだ
津波がくんだ山ま行け肩を抱きかかえ立ち上がりせました
ろをこいでの漁師だったので足腰はしっかりしており
でも腰は曲ってよたよた赤い山の方へ行きました。
拡声器からは津波警報がズズズに流れています
するこ普段聞いたことのない境の用なザザする音が
聞こえてきたんです。海を見ると海水がダのすごい勢で

流れていてました。私の前の気仙沼湾の底が見えてきたんです

これはただ事ではないぞそう思い私も段々畑の方へ

いそいで足で登って行き様子を伺ってました。しばらくして

ブー地響きの用な唸りとともに海水が膨れ上がる用にせまうて

きました。家が流され小船や3000級の大型船などが回転蛇行ながら

廢物がせまうてきます。隣りの家がゆくり動き出し

ました。窓から這い出たおじいさんが軒先をしっかりとつかんでいます

私とおじいさんの距離は10メートルか目と目が合いました。

これ以上書けません。ふた歩よろめきさかた所私の家が

動き出しました。ああー悲ーかたです。自然と手と手を合せて

ました。たんとん思いでの話。また家がダンス履金もありました

500円 玉も寒さと悲しさで声が出ません流れる涙をずりと

目で追っていることすら横で黒い物が浮き沈みしてます

良くみると二人の人です飛ぶこお勇氣はありません

おどおどしながら回りを見渡すと不思議な事にかぎの

付いた隣があったんですいそいでそれお延ばして

引きよせ下半身海水につかり片手を差し出しどう片方の

手で土手の枯れ草をつかいました引上げる力はあり

ません、車椅子の女の方と男の人です男の人はだいたい

よはって来ました動きがにぶかったです私は女の人の

腕をしっかりとつかみ女の方はどう片方の手で男の肩を

しっかりとつかんでました私のつかんだ草がすこしずつ

抜けてきますたのむ抜けないでくれ祈りました

あーだめか海水に吞まれる抜け落ちたうら終りだ

私は握っていた女の人の腕をはなしましたでも女の方は

私の腕をしっかりと握り締めていました私は手をはなす

まですごうれてたことさすくませんでしたつかんだ

草の方に集中してたんです時間がたつにつれ全身震えが

きました良く見ると握ってる草の中にササが何本か混じって

るのがわかりました大丈夫だ自分にいい聞かせました

左手だったので力が入りません長い時間だった気がします

急に海水が引いたんです。あちかすかした三人とも倒れこみ
だいたいぶか者掛け念いさすり念い山の方へ移動しました
私は枯れ木を集め火を燃したこのです。かマッパライターが
ありません。さがしている時、青森からのお出稼で造船場で働いた方
に念ライターを借り燃す事ができました。火を見ると人が集まる
物です。火の回りを取り囲み私は下半身ずぶ濡れ乾かす
のにひっしです。その夜は食する物はありません。

山の中に一軒の家があちかすかした。そこには十数名の人がいました。
寒い夜をすごしました。寝る余裕はありません。気仙沼湾が
燃えだしたんです。みんなバカな海が燃るかみんな口々に
話し掛けました。ただれかが石神タウがとられたを叫びました。
みんなの顔色がこわばった用に見えます。しばらくして
ものすごい爆発音がしました。大形船が燃えだしたんです。
ぶきからうづと燃え広がり。又爆発音、沸かたです。

今一番思っている事、ほしい物は

人間生きるとは、衣、食、住、といえます。衣、食、住、物、みんな
かうたくさんいたたいて満足してます。

食する物、満足に食ってます。住お所、これが

あちかす借りの住まいです。本当の自分の住お所、かほしい

です。気仙沼では集団移転、災害公営住宅、新地質調査

が終りその後あまり進んでおりません

国果市の関係者の者々お忙がしうことと思ひ

ますか ちよとだけいそいで下さい。お願いし

先般の地震では震度で125名の方が亡くなりまし居。互に二百数十名の方が行方

あかっています

のトナリ

私の村では16名の方が亡くなりまし居。その内の4名は私の

身内です兄とその孫です。小の息子小の男の子 小學校の女子

彼に吞まれました。飲みなくなり塩水を腹いっぱい飲みトドめに

まみれがまに押さつけられ苦しかただらう。寒かただらう

まきていた。私たちが元氣で向まにカニバルことか

一番の供養だと思つてます。ご精聴 ありがとうございました